

多治見で「陶器まつり」と「美濃焼祭」

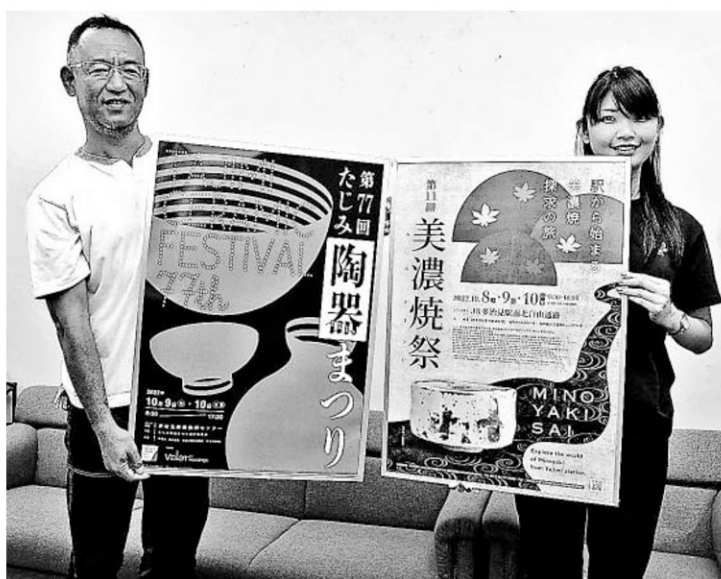
秋の焼き物イベントが10月9、10日、多治見市内で開かれる。多治見美濃焼卸センター(旭ヶ丘)では美濃焼販売のテントが並ぶ「たじみ陶器まつり」が、JR多治見駅(音羽町)周辺では作陶実演が見られる「美濃焼祭」がある。美濃焼祭のみ8日から。

(箕浦由美子)

たじみ陶器まつりは、秋は茶碗まつりとしていたのを昨年春と統一。同センター協同組合などで行う実行委員会が主催する。34社が美濃焼大廉売市として47のテントを並べ、市場価格の4〜5割引きで食器などを販売。クラフト作家エリアにも28社がテントで出店する。今回はバローホールディングスが特別協賛し、食器リサイクルやフー

陶都の秋 一品見つけて

9、10日 大廉売市、75のテント並ぶ



秋の焼き物イベントをPRする伊藤威一郎委員長ら
＝多治見市役所

ドドライブも展開。多治見駅からのシャトルバスが運行される。

美濃焼祭は市観光協会などで行う実行委員会が主催する。文化

財指定を受けた巨匠8人の作品を展示、窯元直売ブースを設ける。作陶実演や絵付け体験コーナーもある。

たじみ陶器まつり実行委員会の伊藤威一郎委員長は

「多治見は民芸品まで種類

が多いのが魅力。市全体で盛り上げたい」と来場を呼びかけている。